

結核の現状

(平成 28 年版)



公益財団法人 三重県健康管理事業センター
(公益財団法人 結核予防会三重県支部)

はじめに

我が国の結核を取り巻く状況は、1951年(昭和26年)の結核予防法の制定以来、官民一体となった取組により、結核患者数が大幅に減少するなど、飛躍的に改善されてきました。結核患者数は年々減少してきており、平成28年の新登録結核患者数は17,625人となり、2万人を下回ってきていますが、欧米に比較すると未だ高い水準にあり「中まん延」の状態が続いています。

依然として結核は我が国の主要な感染症であり、引き続き結核対策に取り組んでいかなければならない状況にあります。また新登録患者の多くが高齢者となっており、結核患者の高齢化が進んでいるほか、外国出生者の増加傾向が続いています。

今後も当センターとしましても、結核対策の普及啓発に取り組んでまいりますので、県・市町や医療機関、事業所などの関係者の皆様におかれましては、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

このたび、平成28年の三重県における「結核の現状」をとりまとめましたので、今後の結核対策の取組の一助になれば幸いです。

公益財団法人三重県健康管理事業センター
(公益財団法人結核予防会三重県支部)

<目 次>

I	結核による死亡	1
1.	結核死亡数の推移	1
2.	都道府県別結核死亡者数及び率	1
3.	三重県の結核死亡率(保健所別)	2
II	結核患者の登録状況	2
1.	登録率、有病率、罹患率(保健所別)	2
2.	新登録患者	3
(1)	結核罹患率の年次推移	3
(2)	新登録患者活動性結核分類	3
(3)	新登録活動性結核患者の職業別発見患者数及び率	4
(4)	発見方法別登録時活動性肺結核患者数	4
(5)	菌陽性肺結核罹患率(保健所別)	4
(6)	性別・年齢別の新登録患者数	4
(7)	喀痰塗沫陽性肺結核罹患率(保健所別)	5
3.	結核登録患者	5
(1)	登録患者数・率の年次推移	5
(2)	結核有病率の年次推移	6
(3)	活動性全結核有病率(保健所別)	6
4.	市町別結核罹患率(新登録患者)	7
5.	市町別結核有病率(活動性結核患者)	8
III	結核医療	9
(1)	受療状況別	9
(2)	保険等の種別	9
(3)	新登録患者化療内容、治療歴	10
IV	結核健診受診状況	11
■	資料編	
	結核の常識 2017	13

I 結核による死亡

1. 結核死亡数の推移

表1 死亡者数及び死亡率の年次推移

	死 亡 数		死亡率(人口10万対)	
	三重県	全国	三重県	全国
昭和30年	706	46,735	43.9	52.3
40年	351	22,366	23.2	22.8
50年	172	10,567	10.6	9.5
55年	91	6,439	6.1	5.5
60年	71	4,692	4.1	3.9
平成元年	45	3,527	2.5	2.9
5年	40	3,249	2.2	2.6
10年	55	1,795	2.9	2.2
20年	26	2,220	1.4	1.8
22年	24	2,129	1.3	1.7
23年	30	2,166	1.7	1.7
24年	28	2,110	1.5	1.7
25年	27	2,084	1.5	1.7
26年	27	2,100	1.5	1.7
27年	39	1,956	2.2	1.6
28年	22	1,889	1.2	1.5

2. 都道府県別結核死亡者数及び率

表2 結核死亡率

	平成28.10.1 日本人人口 (千人)	平成28年結核 死亡者数・率			平成28.10.1 日本人人口 (千人)	平成28年結核 死亡者数・率	
		死亡者数	死亡率			死亡者数	死亡率
全 国	125,020	1,889	1.5	三 重	1,775	22	1.2
北海道	5,327	51	1.0	滋 賀	1,392	13	0.9
青 森	1,290	28	2.2	京 都	2,559	48	1.9
岩 手	1,263	18	1.4	大 阪	8,672	237	2.7
宮 城	2,314	25	1.1	兵 庫	5,438	90	1.7
秋 田	1,007	7	0.7	奈 良	1,347	16	1.2
山 形	1,107	14	1.3	和歌山	949	16	1.7
福 島	1,891	18	1.0	鳥 取	566	10	1.8
茨 城	2,861	33	1.2	島 根	684	12	1.8
栃 木	1,939	29	1.5	岡 山	1,896	29	1.5
群 馬	1,926	24	1.2	広 島	2,799	28	1.0
埼 玉	7,169	85	1.2	山 口	1,381	32	2.3
千 葉	6,137	80	1.3	徳 島	746	14	1.9
東 京	13,207	211	1.6	香 川	964	11	1.1
神奈川	8,986	98	1.1	愛 媛	1,366	21	1.5
新 潟	2,273	24	1.1	高 知	718	20	2.8
富 山	1,049	16	1.5	福 岡	5,054	66	1.3
石 川	1,140	14	1.2	佐 賀	824	22	2.7
福 井	772	14	1.8	長 崎	1,358	15	1.1
山 梨	818	9	1.1	熊 本	1,765	36	2.0
長 野	2,060	24	1.2	大 分	1,150	16	1.4
岐 阜	1,985	40	2.0	宮 崎	1,092	14	1.3
静 岡	3,623	54	1.5	鹿 児 島	1,630	32	2.0
愛 知	7,324	128	1.7	沖 縄	1,427	14	1.0

$$\text{結核死亡率 (人口10万対)} = \frac{\text{全結核死亡者数} \times 10\text{万}}{\text{人 口}}$$

三重県の結核死亡率(人口10万対)は1.2で前年より下回っている。また、全国の結核死亡率1.5よりも下回っている(死亡総数は、不詳・外国人(11人)を含む死亡概数)。

3. 三重県の結核死亡率(保健所別)

表3 保健所管内別結核死亡率

	死亡数	死亡率
桑名	9	3.2
四日市市	6	1.9
鈴鹿	6	2.4
津	5	1.8
松阪	3	1.4
伊勢	2	0.8
伊賀	6	3.6
尾鷲	0	0.0
熊野	1	2.7
計	38	2.1

$$\text{結核死亡率 (人口10万対)} = \frac{\text{全結核死亡者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}}$$

結核死亡率(人口10万対)を保健所管内別にみると、最も死亡率の高いのは伊賀保健所管内の3.6、次いで桑名保健所管内の3.2である。

II 結核患者の登録状況

1. 登録率、有病率、罹患率(保健所別)

表4 保健所管内別登録率・有病率・罹患率 (人口10万対)

	登録者数	登録率	活動性結核患者数	有病率	新登録患者数	罹患率	平成28年10月1日現在人口
桑名	107	37.7	41	14.5	56	19.7	283,646
四日市市	86	27.7	37	11.9	46	14.8	310,674
鈴鹿	48	19.5	6	2.4	22	8.9	246,450
津	64	23.0	13	4.7	19	6.8	278,674
松阪	70	33.4	13	6.2	28	13.4	209,584
伊勢	74	30.8	31	12.9	35	14.6	240,349
伊賀	45	26.8	17	10.1	21	12.5	167,973
尾鷲	10	29.8	6	17.9	5	14.9	33,531
熊野	12	32.7	7	19.1	9	24.5	36,730
計	516	28.5	171	9.5	241	13.3	1,807,611

活動性結核患者数の多かったのは、桑名保健所管内41人、次いで四日市保健所管内の37人である。

$$\text{登録率 (人口10万対)} = \frac{\text{結核患者登録者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}}$$

$$\text{罹患率 (人口10万対)} = \frac{\text{結核患者新規登録者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}}$$

2. 新登録患者

(1) 結核罹患率の年次推移

表5 新登録患者数・罹患率

		新登録患者数		罹患率(人口10万人対)	
		三重県	全国	三重県	全国
昭和	50年	1,653	108,088	101.7	99.6
	60年	732	58,567	41.9	48.4
平成	元年	587	53,112	32.8	43.1
	5年	553	47,437	30.4	38.0
	10年	527	41,033	28.3	32.4
	20年	325	24,760	17.3	19.4
	22年	293	23,261	15.8	18.2
	23年	281	22,681	15.2	17.7
	24年	253	21,283	13.7	16.7
	25年	241	20,495	13.0	16.1
	26年	237	19,615	13.0	15.4
	27年	244	18,280	13.4	14.4
	28年	241	17,625	13.3	13.9

$$\text{罹患率 (人口10万人対)} = \frac{\text{新登録結核患者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}}$$

平成28年の新登録患者数は241人で、平成27年(244人)に比べ3人減少している。

(2) 新登録患者活動性結核分類

表6 活動性結核分類

保健所名	総数	活動性結核						肺外結核 活動性	潜在性結 核感染症
		総数	肺結核活動性			その他結 核菌 陽性	菌陰 性・ その他		
			総数	初回 治療	再治 療				治療中
総数	241	177	84	75	9	65	28	64	59
男	138	104	55	49	6	35	14	34	26
女	103	73	29	26	3	30	14	30	33
桑名	56	38	18	14	4	13	7	18	13
四日市市	46	33	12	12	0	18	3	13	10
鈴鹿	22	18	8	8	0	6	4	4	4
津	19	15	6	6	0	4	5	4	16
松阪	28	24	17	16	1	4	3	4	9
伊勢	35	23	7	5	2	14	2	12	2
伊賀	21	17	9	8	1	4	4	4	5
尾鷲	5	3	3	3	0	0	0	2	0
熊野	9	6	4	3	1	2	0	3	0

(3)新登録活動性結核患者の職業別
発見患者数及び率

表7 職業別患者数

	患者数	率 (%)
総 数	177	100.0
接客業者	2	1.1
医療関係者	5	2.8
教員・保育士	1	0.6
小中学生等	0	0.0
高大校生等	0	0.0
他常用勤労者	37	20.9
他臨時・日雇者	5	2.8
他自営・自由業	6	3.4
家事従事者	3	1.7
乳幼児	0	0.0
無職・その他	116	65.6
不 明	2	1.1

(4)発見方法別登録時活動性肺結核患者数

表8 発見方法別患者数

		患者数	率 (%)	
総 数		177	100.0	
健 康 診 断	定 期	学校	0	0.0
		住民	9	5.1
		職場	26	14.7
		施設	3	1.7
	定 期 外	業態者	0	0.0
		家族	4	2.3
		その他	2	1.1
	その他の集団検診		1	0.5
	個別健康診断		2	1.1
	医療機関受診		127	71.8
そ の 他		3	1.7	
不 明		0	0.0	

(5)菌陽性肺結核罹患率(保健所別)

表9 保健所管内別菌陽性肺結核の罹患数

桑名	菌陽性肺結核 新登録患者数	罹患率
桑名	31	10.9
四日市市	30	9.7
鈴鹿	14	5.7
津	10	3.6
松阪	21	10.0
伊勢	21	8.7
伊賀	13	7.7
尾鷲	3	8.9
熊野	6	16.3
計	149	8.2

$$\text{菌陽性肺結核罹患率} = \frac{\text{菌陽性肺結核登録患者数} \times 10 \text{万人}}{\text{人 口}}$$

平成28年の菌陽性肺結核の罹患率(人口10万対)は、8.2となり前年より0.6下回った。

保健所管内別にみると、最も高いのは熊野保健所管内の16.3、最も低いのは津保健所管内の3.6となっている。

(6)性別・年齢別の登録患者数

(人)

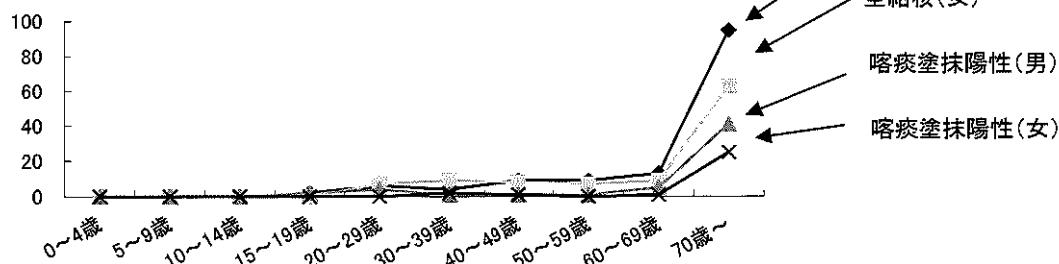


図1 新登録患者数

表10 年齢別新登録患者数

		0~4	5~9	10~	15~	20~	30~	40~	50~	60~	70歳	計	40歳以上の 比率	
		歳	歳	14歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	~		人数	率
全結核	総数	0	0	0	2	13	13	17	16	22	158	241	213	88.4
	男	0	0	0	2	6	4	9	9	13	95	138	126	91.3
	女	0	0	0	0	7	9	8	7	9	63	103	87	84.5
喀痰塗 抹陽性	総数	0	0	0	2	4	3	2	1	6	66	84	75	89.3
	男	0	0	0	2	4	1	1	1	5	41	55	48	87.3
	女	0	0	0	0	0	2	1	0	1	25	29	27	93.1

新登録患者を年齢別にみると、40歳以上の中高年齢層の割合が、全結核88.4%
喀痰塗抹陽性が89.3%と高くなっている。

(7) 喀痰塗抹陽性肺結核罹患率(保健所別)

表11 保健所管内別喀痰塗抹陽性者

	県計	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野
喀痰塗抹陽性肺結核 新登録患者数	84	18	12	8	6	17	7	9	3	4
喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	4.6	6.3	3.9	3.2	2.2	8.1	2.9	5.4	8.9	10.9

$$\text{喀痰塗抹陽性肺結核罹患率 (人口10万対)} = \frac{\text{喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}}$$

喀痰検査の結果、平成28年には菌陽性の肺結核患者が84人新たに登録された。
これを保健所管内別にみると、喀痰塗抹陽性罹患率が最も高いのは熊野保健所管内
の10.9ポイント、最も低いのは津保健所管内の2.2ポイントとなっている。

3. 結核登録患者

(1) 登録患者数・率の年次推移

表12 登録患者数年次推移

(各年末現在)

	登録患者数		登録率	
	三重県	全国	三重県	全国
昭和 60年	4,640	306,262	266.9	253.1
平成 元年	2,906	238,189	162.9	193.2
5年	2,604	191,584	143.2	153.6
10年	1,563	107,058	83.9	84.6
20年	718	62,244	38.4	48.4
22年	628	55,573	33.9	43.6
23年	632	55,196	34.4	43.2
24年	624	52,203	33.9	40.9
25年	599	49,814	32.8	39.1
26年	551	47,845	30.2	37.6
27年	498	44,888	27.4	35.3
28年	516	42,299	28.5	35.4

$$\text{登録率 (人口10万対)} = \frac{\text{登録結核患者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}}$$

(2)結核有病率の年次推移

表13 活動性全結核・活動性肺結核患者数年次推移

	活動性全結核				活動性肺結核(再掲)			
	三重県		全国		三重県		全国	
	数	率	数	率	数	率	数	率
60年	2,295	131.3	147,580	121.9	362	20.7	137,461	113.6
元年	1,409	78.8	99,524	80.7	289	16.2	93,311	75.7
5年	1,034	56.6	76,675	61.5	320	17.5	72,104	57.8
10年	768	41.3	49,205	38.9	390	21.0	41,955	33.2
20年	281	15.0	20,021	15.7	179	9.6	15,518	12.2
22年	211	11.4	17,927	14.0	186	10.0	13,995	10.9
23年	205	11.1	17,264	13.5	172	9.4	13,260	10.4
24年	188	10.2	14,858	11.7	160	8.7	11,381	8.9
25年	175	9.6	13,957	10.9	157	8.6	10,830	8.5
26年	168	9.2	13,513	10.6	103	5.7	8,927	7.0
27年	171	9.4	12,534	9.9	129	7.1	9,596	7.5
28年	171	9.4	11,717	9.2	121	6.7	9,016	7.1

$$\text{三重県活動性全結核有病率} = \frac{\text{活動性全結核患者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}} \quad (\text{人口10万対})$$

$$\text{三重県活動性肺結核有病率} = \frac{\text{活動性肺結核患者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}} \quad (\text{人口10万対})$$

活動性全結核有病率(人口10万対)は、全国的に、減少傾向にあるが、三重県の平成28年の活動性全結核有病率(人口10万対)は9.4で昨年と同数となっている。

(3)活動性全結核有病率(保健所別)

表14 保健所管内別活動性全結核登録患者数

桑名	活動性全結核登録患者数	有病率
桑名	41	14.5
四日市市	37	11.9
鈴鹿	6	2.4
津	13	4.7
松阪	13	6.2
伊勢	31	12.9
伊賀	17	10.1
尾鷲	6	17.9
熊野	7	19.1
計	171	9.5

$$\text{活動性全結核有病率} = \frac{\text{活動性全結核登録患者数} \times 10\text{万}}{\text{人口}} \quad (\text{人口10万対})$$

結核有病率(人口10万対)を保健所管内別にみると、最も高いのは熊野保健所管内の19.1である。次に尾鷲保健所管内の17.9である。一方で最も低いのは、鈴鹿保健所管内となっている。

4. 市町別結核罹患率(新登録患者)

表15 市町別結核罹患率

(人口10万対)

保健所	管内市町	24年		25年		26年		27年		28年	
		患者数	率	患者数	率	患者数	率	患者数	率	患者数	率
桑 名	桑名市	21	14.9	18	14.9	25	17.7	27	19.2	34	24.2
	いなべ市	4	8.8	7	8.8	8	17.7	7	15.3	12	26.3
	木曾岬町	2	29.8	1	29.8	1	15.5	3	47.2	1	15.8
	東員町	6	23.5	3	23.5	4	15.7	2	7.9	3	11.9
	菰野町	2	5.0	5	5.0	3	7.4	4	9.9	1	2.5
	朝日町	1	10.1	1	10.1	1	9.7	0	0.0	1	9.3
	川越町	1	6.9	1	6.9	1	6.8	1	6.8	4	27.0
四日市市	四日市市	43	14.0	54	14.0	34	11.1	41	13.2	46	14.8
鈴 鹿	鈴鹿市	19	9.6	17	9.6	23	11.7	21	10.7	19	9.7
	亀山市	4	8.0	6	8.0	3	5.9	8	15.9	3	6.0
津	津市	38	13.4	37	13.4	44	15.7	34	12.1	19	6.8
松 阪	松阪市	20	12.0	18	12.0	27	16.3	31	18.9	26	16.0
	多気町	0	0.0	2	0.0	2	13.3	3	20.2	1	6.8
	明和町	3	13.2	1	13.2	1	4.4	2	8.9	1	4.4
	大台町	2	19.8	2	19.8	1	10.2	1	10.5	0	0.0
伊 勢	伊勢市	10	7.7	7	7.7	13	10.2	12	9.4	14	11.0
	鳥羽市	0	0.0	2	0.0	3	15.3	3	15.4	3	15.7
	志摩市	11	20.8	7	20.8	8	15.7	8	15.9	8	16.1
	玉城町	1	6.5	1	6.5	1	6.4	1	6.5	1	6.5
	度会町	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	12.0	4	48.8
	大紀町	2	21.0	1	21.0	2	22.0	0	0.0	1	11.5
	南伊勢町	6	43.1	1	7.4	1	7.7	1	7.8	4	32.2
伊 賀	名張市	13	16.3	16	16.3	9	11.4	8	10.2	6	7.7
	伊賀市	29	30.4	20	30.4	9	9.7	15	16.6	15	16.7
尾 鷲	尾鷲市	2	10.5	4	10.5	2	10.9	4	22.2	2	11.4
	紀北町	4	22.4	1	22.4	3	17.6	3	18.4	3	18.8
熊 野	熊野市	4	21.4	4	21.4	5	27.7	1	5.8	6	35.2
	御浜町	1	11.0	2	11.0	1	11.2	2	22.9	2	23.2
	紀宝町	4	35.0	1	35.0	2	17.8	0	0.0	1	9.0
県 計		253	13.8	241	13.8	237	13.0	244	13.4	241	13.3

5. 市町別結核有病率(活動性結核患者)

表16 市町別結核罹患率

(人口10万対)

保健所	管内市町	24年		25年		26年		27年		28年	
		患者数	率	患者数	率	患者数	率	患者数	率	患者数	率
桑 名	桑名市	14	9.9	16	9.9	21	14.9	17	12.1	24	17.1
	いなべ市	1	2.2	7	2.2	6	13.3	3	6.5	8	17.5
	木曾岬町	1	14.9	1	14.9	0	0.0	1	15.7	0	0.0
	東員町	5	19.6	3	19.6	3	11.8	2	7.9	3	11.9
	菰野町	2	5.0	2	5.0	4	9.9	2	5.0	2	5.0
	朝日町	0	0.0	0	0.0	1	9.7	0	0.0	0	0.0
	川越町	1	6.9	1	6.9	1	6.8	1	6.8	4	27.0
四日市市	四日市市	30	9.8	39	9.8	23	7.5	30	9.6	37	11.9
鈴 鹿	鈴鹿市	11	5.5	14	5.5	13	6.6	21	10.7	5	2.5
	亀山市	2	4.0	4	4.0	3	5.9	3	6.0	1	2.0
津	津市	26	9.2	24	9.2	26	9.3	26	9.3	13	4.7
松 阪	松阪市	19	11.4	11	11.4	23	13.8	21	12.8	10	6.1
	多気町	0	0.0	0	0.0	2	13.3	2	13.4	2	13.6
	明和町	3	13.2	1	13.2	0	0.0	2	8.9	1	4.4
	大台町	2	19.8	1	19.8	1	10.2	0	0.0	0	0.0
伊 勢	伊勢市	6	4.6	6	4.6	9	7.1	5	3.9	12	9.5
	鳥羽市	0	0.0	0	0.0	2	10.2	3	15.4	5	26.2
	志摩市	9	17.0	6	17.0	6	11.8	6	11.9	7	14.1
	玉城町	1	6.5	1	6.5	1	6.4	0	0.0	1	6.5
	度会町	0	0.0	1	0.0	1	12.0	1	12.0	3	36.6
	大紀町	1	10.5	1	10.5	2	22.0	0	0.0	1	11.5
	南伊勢町	6	43.1	1	43.1	2	15.3	1	7.8	2	16.1
伊 賀	名張市	11	13.8	12	13.8	5	6.4	6	7.6	6	7.7
	伊賀市	23	24.1	14	24.1	5	5.4	12	13.2	11	12.3
尾 鷲	尾鷲市	1	5.2	3	5.2	1	5.4	2	11.1	3	17.0
	紀北町	4	22.4	1	22.4	2	11.8	3	18.4	3	18.8
熊 野	熊野市	4	21.4	3	21.4	3	16.6	1	5.8	4	23.5
	御浜町	1	11.0	1	11.0	1	11.2	0	0.0	2	23.2
	紀宝町	4	35.0	1	35.0	1	8.9	0	0.0	1	9.0
県 計		188	10.2	175	10.2	168	9.2	171	9.4	171	9.5

Ⅲ 結核医療

(1) 受療状況別

表17 受療状況

	活動性結核								潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性	菌陰性・その他		治療中
		総数	初回治療	再治療					
総数	171	121	52	44	8	52	17	50	33
入院中	30	21	15	14	1	5	1	9	0
外来治療中	139	98	36	30	6	47	15	41	30
治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	2	2	1	0	1	0	1	0	3

(2) 保険等の種別

表18 利用保険

	活動性結核								潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性	菌陰性・その他		治療中
		総数	初回治療	再治療					
総数	171	121	52	44	8	52	17	50	33
被用者本人	29	22	5	3	2	13	4	7	13
被用者家族	7	6	2	2	0	2	2	1	6
国保一般	35	23	10	10	0	7	6	12	8
国保退職本人	1	1	1	1	0	0	0	0	0
国保退職家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後期高齢者	95	66	33	27	6	28	5	29	3
生活保護法	3	2	1	1	0	1	0	1	1
その他	1	1	0	0	0	1	0	0	2
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)新登録患者化療内容、治療歴

表19 化療内容、治療歴内訳

	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性	菌陰性・その他		治療中
		総数	初回治療	再治療					
総数	241	177	84	75	9	65	28	64	59
H、R、Z、E又はSの4剤併用	115	84	38	36	2	31	15	31	0
その他H、R、Z含む3剤以上	1	0	0	0	0	0	0	1	0
その他H、R、含む3剤以上	107	80	40	33	7	28	12	27	0
H、Rの2剤併用	1	1	0	0	0	1	0	0	0
その他の2剤併用	1	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の3剤以上併用	4	2	1	1	0	1	0	2	0
H単独	0	0	0	0	0	0	0	0	59
その他の単独	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明・化療なし	12	10	5	5	0	4	1	2	0

(注) H=イソニアジド、R=リファンピシン、Z=ピラジナミド、E=エタンプロール

S=ストレプトマイシン

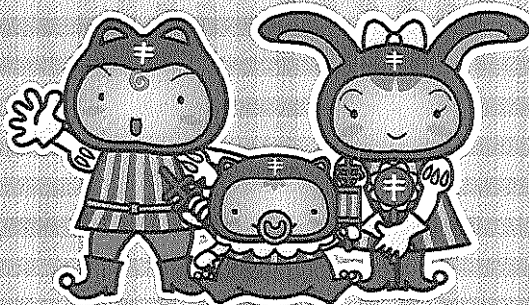
IV 結核健診受診状況

保健所		桑名	四日市市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
ツベルクリン反応	被注射者数	2	11	-	1	-	1	9	-	-	24
	被判定者数	2	11	-	1	-	1	9	-	-	24
	陰性者数	2	10	-	-	-	-	9	-	-	21
	陽性者数	-	1	-	1	-	1	-	-	-	3
BCG 接種者数		2,374	2,598	2,112	2,094	1,627	1,566	1,181	148	222	13,922
間接 撮影者数		14,835	4,441	4,315	8,813	3,289	6,040	6,121	1,476	1,779	51,109
直接 撮影者数		12,183	24,276	21,511	46,498	25,698	24,431	13,436	1,701	3,130	172,864
喀痰 検査者数		9	-	-	6	2	-	3	-	3	23
IGRA 検査者数		199	104	52	90	297	55	233	4	35	1,069
被発見者数	結核患者	1	6	-	1	1	4	3	-	3	19
	潜在性結核 感染者	1	1	2	3	7	-	3	-	-	17
	結核発病の おそれがあると 診断された者	6	5	1	1	1	3	23	-	-	40

平成28年度 地域保健・健康増進事業報告

結核の常識

結核予防週間 9/24~9/30 2017



結核～知って予防。早めの受診。

結核についてもっと知ろう!

結核をなくすには何よりも皆さんに結核について正しく知ってもらうことが大切。

あなたと身近な人を結核から守るためこのパンフレットをご活用ください。



1 結核ってどんな病気?

2 どうやって感染するの?

3 結核の予防

4 結核の治療

5 日本と世界の結核

6 結核予防会の活動

① 結核ってどんな病気?

1日で5人が亡くなる日本の重大な感染症です

明治時代から昭和20年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核。50年前までは、年間死亡者数も10数万人に及び死亡原因の第1位でした。

医療や生活水準の向上により、薬を飲み始めれば完治できる時代になりましたが、過去の病気と思っていたら大間違いです。今でも1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている日本の重大な感染症なのです。



過去の病気とと思ったらダメ!
結核は、「現代」の病気だよ。
決して他人事ではないんだ。

国内の結核

『地理の統計2016』より(率はすべて人口10万人)

年	結核患者数	結核死亡者数	結核罹患率	結核死亡率
2013年	8,280人	244	1.956人	1.6
2014年	9,015人	154	2.100人	1.7
2014年	20,495人	167	2.027人	1.7

② どうやって感染するの？

咳やくしゃみで「空気感染」する病気です

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。

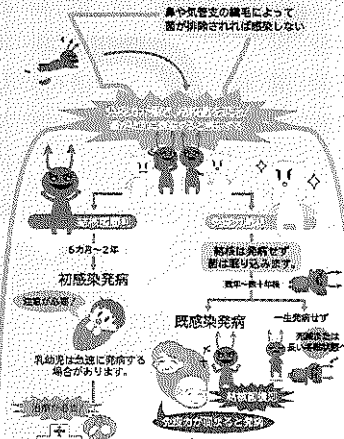
結核菌の混ざったしぶきが咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。これを「空気感染」といいます。

ただし、結核に感染しても必ずしも発病するわけではありません。通常は免疫力により結核菌の増殖を抑えられ、休眠状態になります。



電子顕微鏡で見た結核菌の姿
1~4μm(ミクロン)

入った菌は、きちんと
治療すれば大丈夫



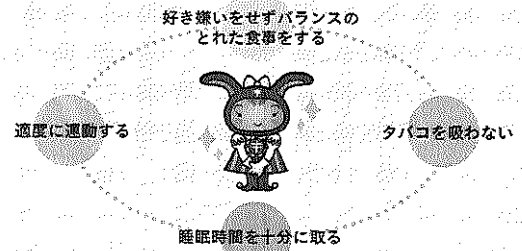
③ 結核の予防

結核は、正しく理解して行動していればそれほど怖がる必要はありません。2週間以上咳や痰が続くようでしたら、医療機関を受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命を危うくすることもあります。予防するためには、BCG接種が有効です。市町村からの案内に従って、遅くとも1歳までに接種を受けてください(ちなみに国が示している標準的な接種期間は生後5カ月~8カ月の期間です)。

特にお年寄りは体のたるみや抵抗力が弱いたり、急に体温が高くなってきたりしたら、発熱の可能性もあります。心当たりのあるときは早めに医療機関を受診しましょう。

結核の発病も予防できる健康法
ふだんから健康的な生活を心がけましょう



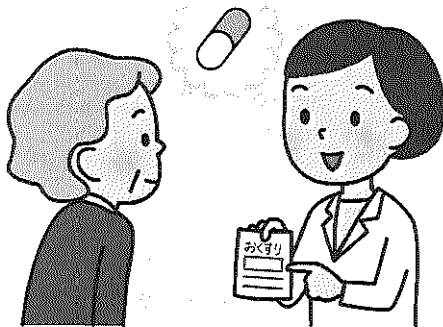
④ 結核の治療

もし結核と診断されたら？

結核と診断されても、6カ月~9カ月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまえば治りません。それどころか、菌は抵抗力をつけ、薬が効かない耐性菌になることもあります。治療を確実にするために、患者に薬を処方するだけでなく、患者が服薬するところを医療従事者が目の前で確認し、支援する方式の推進が強化されています。これを直接服薬確認療法、

DOTS(ドッツ:Directly Observed Treatment, Short-course)といいます。

また、結核の治療費用については公的負担が受けられます。服薬支援や公的負担などに関することは、お近くの保健所にご相談ください。



⑤ 日本と世界の結核

日本では.....

・結核患者の高齢化がますます進む！
新たに結核と診断される方のうち60歳以上の方が70%以上を占めています。人口の高齢化よりもっと早く、結核患者の高齢化が進んでいます。

・若年層では外国生まれの割合が増加！
一方で20~30代の患者さんのうち、外国生まれの割合が増加しています。20代では50%以上を占めています。国際化の進展により、この傾向もさらに進むと予想されます。

・受診の遅れ・患者発見の遅れによる集団感染の発生！
残念ながら結核は「過去の病気」との認識が、一般の方々のみならず医療関係者にもあります。それによる受診・診断の遅れから、周囲の人々に感染が広まる集団感染がたびたび発生しています。

・地域の中で大きな格差が！
特に人口が多く外国人が集まる大都市部は、地方と比較すると結核患者数が多い状況です。日本の中でも大きな格差が生まれており、各地域の状況に応じた対策が必要になっています。

グローバル化が進む中で、日本だけが患者を減らしても、世界で患者を減らさなければ、結果的には日本の患者も減らないことになります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでには結核低蔓延国(結核罹患率を人口10万対10以下)の仲間入りをして、世界の皆様をお迎えしましょう！



今CUBには、
世界の中では中蔓延国です。



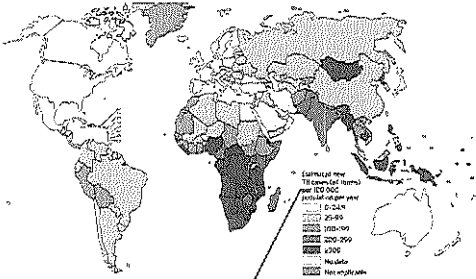
アジアと世界の結核をなくさなければ
日本の負担はなくなるらない!

世界では

世界では、総人口の約3分の1が既に結核に感染しています。
結核は、世界の死亡原因トップ10の一つです。2015年には1,040万人が新たに結核を発病し、180万人が亡くなりました。多剤耐性結核の発病者は48万人と推計され、結核とHIV/エイズの重複感染とともに問題を深刻化させています。(WHOファクトシートより)
結核のない世界の実現に向けて、世界的な取り組みが進められています。

世界の結核の状況

Estimated TB incidence rates, 2016 (2016年推定結核発病率)

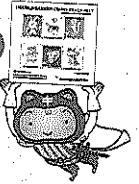


⑥ 結核予防会の活動

ご存知ですか? 複十字シール運動

結核予防会では「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。収益金は、結核予防の普及啓発活動、開発途上国への結核対策支援等に活用しています。

結核をなくすために
複十字シール運動を
ぜひ始めてください



活動期間 | 8月1日~12月31日

※活動期間外でもいつでも受け付けています。

☎0120-416864

結核予防会 寄付 検索

もっと結核について知りたい方は...

- ◆結核予防会HP [結核予防会](#) [検索](#)
- ◆わかりやすいマンガから専門書まで取り揃えています。(結核予防会出版物各種)
結核予防会 事業部出版調査課 book@jatahq.org ☎03-3292-9289
- ◆結核で困っている外国人の方がいたら
結核予防会「外国人結核電話相談」☎03-3292-9218 (相談日時: 10:15~12:00、13:15~15:00)

このパンフレットは複十字シール募金活動の成果を伝えるために作成されています。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

※このパンフレットは複十字シール募金で作られています。

複十字シール運動にご協力をお願いします。

複十字シール運動は、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための運動です。その実現のために募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えています。



シールぼうや

運動のはじまり

1904年にデンマークでクリスマスシールが誕生しました。「クリスマスカードに誰でも買える値段のシールを貼ってもらえたら、収益金で子供のための結核診療所をつくれるのでは?」という郵便局員のアイデアが国民的支持を得たのです。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。

募金の使いみち

複十字シール募金は、結核の国際協力、結核や肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの普及啓発、結核予防団体の支援、調査研究に役立てられています。

アメリカ西部開拓時代、大自然に囲まれて暮らす少女ローラと家族の心温まる物語、「大きな森の小さな家」(ローラ・インガルス・ワイルダー)の世界がシールになりました。

安野光雅
画家・絵本作家。「ふしぎなえ」「ABCの本」「原の絵本」「本が好き」也。

複十字シールには、健康を願うメッセージが込められています。シールをお使いいただくことで、運動の輪が広がります。

複十字は世界共通の結核予防運動のシンボルです。✠

■本冊子は結核の統計2017(公益財団法人結核予防会)及び三重県の結核統計(平成28年版)2016(三重県健康福祉部)を参考に作成しました。

結核の現状 2017

平成 30 年5月

公益財団法人 三重県健康管理事業センター
(公益財団法人 結核予防会三重県支部)

TEL 059 - 228 - 4502

FAX 059 - 223 - 1611



P-00061

この印刷物は、CSR
に取り組む印刷会社が
製作した印刷物です。



GREEN PRINTING JFPI
P-B10216

この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。